

No.・区分	11401	ハード部門(土木)
タイトル	土砂や泥水の海中落下防止設備	
動機・改善前の状況	グラブ船による浚渫作業時、汚濁防止柵と土運船ホールド間の土砂及び泥水海中落下防止措置として、落下防止シートを展張し水質汚濁の低減を図っていたが、①離舷時シートを土運船上に格納する際、不安定な姿勢でたくし上げなくてはならない。②強風時、展張したシートが破断し取替え作業が必要となる。また、その間浚渫作業を待機する必要があった。	
改善・実施事項	落下防止シートに換え、折りたたみ式のシュートを製作しグラブバケット旋回範囲の土運船舷側に設置した。	
改善効果	浚渫作業終了後の海中落下防止設備の土運船への取込みが容易となったこと、風による破損もなくなったことにより施工能率を落とさず、安全に施工するとともに、土砂及び泥水の汚濁防止柵外への海中落下を防止した。	
活動内容 改善事項の図、 写真	 <p>(海中落下防止設備設置状況)</p>	

Good Practice!